

## 学力向上のために

学力を向上させるためにはどうすればよいのか。勉強だけではなく、すべてのことに共通することですが、**基本を大切にすること**です。それでは、学力の基本とは何か。それは日本語(国語)の力です。私たちは、日本語(国語)を用いて生活しています。社会、理科、数学、英語など、すべての教科の勉強に日本語(国語)が使われています。人とコミュニケーションをとるのも、人の話を聞くのも、自分の考えを組み立てて表現するのも、テスト問題の意味を理解するのも、すべて日本語(国語)です。**日本語(国語)の能力をつけることがすべての学習の基本です。**

ところが、受験勉強をしていて、一番「勉強の仕方がわからない」のも国語だと思っています。勉強時間を費やしてもなかなか成果が出ない。一方、あまり勉強しなくても、できる人はできてしまう。それが、国語です。日本語なので、誰でもできるようになるはずですが、できないのは、必要なレベルまで勉強が足りていないということ。逆にいうと、必要なレベルまで勉強できれば、国語の能力が身につくということです。

それでは、**国語の力をつけるために必要な力**は何か。その力は次の二つに整理されるといわれています。

**語彙力(ごいりょく) = 使える言語数を増やす**

**文脈力(ぶんみゃくりょく) = 意味をつかませる**

まず、**語彙力**についてです。英語では、単語を一生懸命覚えます。知っている言葉、自分が使える言葉を増やすことができると、理解が進みます。それと同じです。国語の単語力をつける、すなわち**使える言葉(単語)の数を増やす**ことで語彙力を確実につけることができます。

次に、**文脈力**についてです。文章読解力とは、その**文章が何を伝えようとしているのか、その意味を把握すること**です。会話にしても、相手が伝えようとしていることの意味をつかみ、理解することで、反応したり、返事をしたりすることができます。文章を読んだり書いたり、人と話したり、聞いたりするとき、**私たちは語彙力と文脈力、この二つの力を駆使しています**。文脈力、すなわち意味をつかまえるための勉強が大切です。数学の文章問題でも、数量の関係をつかむために必要になるのが文脈力です。

文脈力をつけるためにどうするか。それは本を読むことです。なぜか。本に書いてあることの意味(文脈)を理解しようとして本を読むからです。本を書いている人の立場や本の内容に共感したり、新たな発見があったりして、本を楽しめるようになることです。文脈力が鍛えられると、よりいっそう本を楽しめるようになります。人との会話も同じです。文脈力が広がると会話にも広がりが生まれます。

国語の場合は試験勉強というよりも、**毎日の生活のなかで「単語力と文脈力を磨くこと」**を心がけ、**言葉を大切にしてい**くことが、一番の勉強になります。そのことを意識して、朝読や国語の授業に取り組んでみましょう。必ず力がつきます。すべての教科の学力アップにつながります。